

授業科目名	現代社会とメンタルヘルス	単位数	2単位
担当教員名	堀越由紀子	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自立的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)</p>			
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>(1) 現代社会における課題と現状について学び、ライフサイクルからみた心の健康について学ぶ。 (2) 社会生活とストレスについて学ぶ。 (3) 包摂的な環境のありかたについて学ぶ。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>「メンタルヘルス」とは「心の健康」のことで、それは心が病んでいないだけでなく個人が社会の中で心の快適さを保ちながら生活している状態を意味する。そのためには、個人が心身の状態を健康に保つ考え方や行動を身につけることが大切だが、家庭、学校、職場、地域といった環境が包摂的であるかどうかも重要である。授業では人と環境の交互作用の視点から現代社会におけるメンタルヘルスとは何かを考えていく。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回:メンタルヘルスとはなにか(テキスト第1章) 第2回:ライフサイクルとメンタルヘルス(1) 周産期、乳児期、幼児期(テキスト第2章) 第3回:ライフサイクルからみた心の健康(2) 児童期・思春期・青年期(テキスト第3章) 第4回:ライフサイクルからみた心の健康(3) 成人期(テキスト第4章) 第5回:ライフサイクルからみた心の健康(4) 老年期と人生のしめくり(テキスト第5章) 第6回:ストレスの理論・ストレスコーピング(テキスト第6章・第8章) 第7回:精神疾患(1)・(2)(テキスト第9章・第10章) 第8回:精神疾患(3) 依存症(アディクション)(テキスト第11章) 第9回:精神疾患(4) ストレスとストレス反応(テキスト第12章) 第10回:災害とメンタルヘルス(テキスト第13章) 第11回:喪失体験と悲嘆・自殺の予防(テキスト第14章・第15章) 第12回:家庭とメンタルヘルス 第13回:職場とメンタルヘルス(テキスト第7章 他) 第14回:学校とメンタルヘルス 第15回:地域社会とメンタルヘルス、まとめ 科目修得試験</p>			
<p>スクーリングでの学修</p> <p>テキスト学習の内容を基礎学習とすると、スクーリングは応用学習にあたる。スクーリングでは、現代社会における家庭、学校、職場、地域社会においてメンタルヘルスの現状がどうなっているのか、とりわけ精神医療や心理臨床、教育や福祉支援からこぼれがちなテーマについて課題と対応を考える。</p>			
<p>テキスト</p> <p>石丸昌彦(2023)『新版 今日のメンタルヘルス～健康・医療心理学の実践的展開』放送大学教育振興会 978-4-595-32401-7</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>中谷陽二・斎藤環・森田展彦・小西聖子編集『現代社会とメンタルヘルス 包摂と排除』星和書店 978-4-7911-1063-6 村井俊哉/森本恵子/石井信子編著(2015)『メンタルヘルスを学ぶ』ミネルヴァ書房 978-4-623-07247-7</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>スクーリング評価(30%)、レポート評価(30%)、科目修得試験(40%)</p>			